第5次多摩市地域福祉活動計画

（令和5年度から令和10年度）

～ 概 要 版 ～

2023（令和5）年3月

社会福祉法人　多摩市社会福祉協議会

多摩市の地域福祉の現状と課題

統計やアンケートの結果を踏まえ、多摩市の地域福祉における現状や課題をまとめました。

1. 必要な人に情報が行き届かず、相談先がわからない

2. 現役世代が地域活動をする余裕がない
3. 子ども・若者のひきこもりや 8050 など複合課題に対してどうしたらよいか分からない

4. 高齢者以外（子ども、障がい者、多世代、外国人）の集まれる場が少ない
5. 地域活動をしたい気持ちはあるけれど一歩が踏み出せない

6. 単身高齢者世帯では、今後の生活不安を感じる方が多い。また、単身高齢者が増える傾向にある
7. 担い手の高齢化で地域活動者が減少する一方、若い世代の担い手が増えない（新しい担い手が増えない）

課題から見えるキーワード

①「知る・学ぶ・気づく」

・様々な人々が地域で暮らしていることを知り、学びながら、身近な地域のちょっとした変化に関心を持ち、気づいてもらう。

②「参加する・集う・つながる」

・関心のあるテーマや地域の活動に参加する。
・サロン等の通いの場など、身近な地域の集まりの場に参加しながら、地域のことについて話し合ってみる。

③「支えあう・支援につなげる」

・自分にできる役割を見つけ、できることから無理のない範囲で活動してみる。
・様々な人たちと交流し、つながりを深めていく。
・「困った時はお互い様」の気持ちで、見守りや支えあい活動を行う。

「地域福祉活動計画」ってどんな計画？

「地域福祉活動計画」は、市民の皆さんが主体となって活動を行うための「住民参加型計画」です。市民、自治会・住宅管理組合、ボランティア・市民活動団体、社会福祉法人、民間事業所、福祉関係機関など様々な主体と多摩市社協とが相互に連携・協働して、地域の課題解決に取り組むための道筋を示したものです。多摩市と取り組みを連携して進めるために、多摩市の策定する「地域福祉計画」と合わせて策定しています。

基本理念

「第５次多摩市地域福祉活動計画」では、「第４次活動計画」策定後の「地域共生社会」の実現に向けた国、東京都、多摩市の施策の動向を踏まえるとともに、多摩市の地域福祉の現状と課題を鑑み、計画を組み立てました。

「第５次活動計画」の基本理念は、「第４次活動計画」の基本理念「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の方向性を継承しつつ、「地域共生社会」の実現に向けた多様性や地域の主体性を一層重視したものとしました。

【第５次活動計画の基本理念】

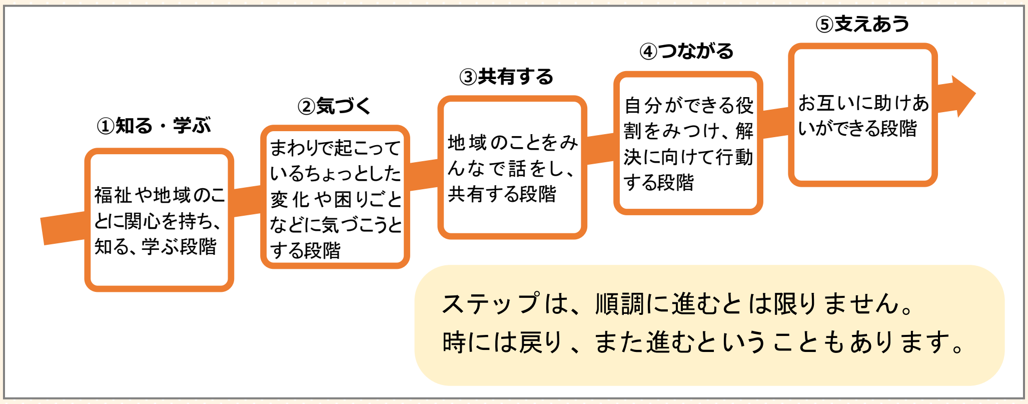
つながり　支えあい　安心するまちづくり

支えあいの仕組みをつくるためのステップ

第５次活動計画では、共通のテーマ（キーワード）として「知り合う・つながる・支えあう」としています。

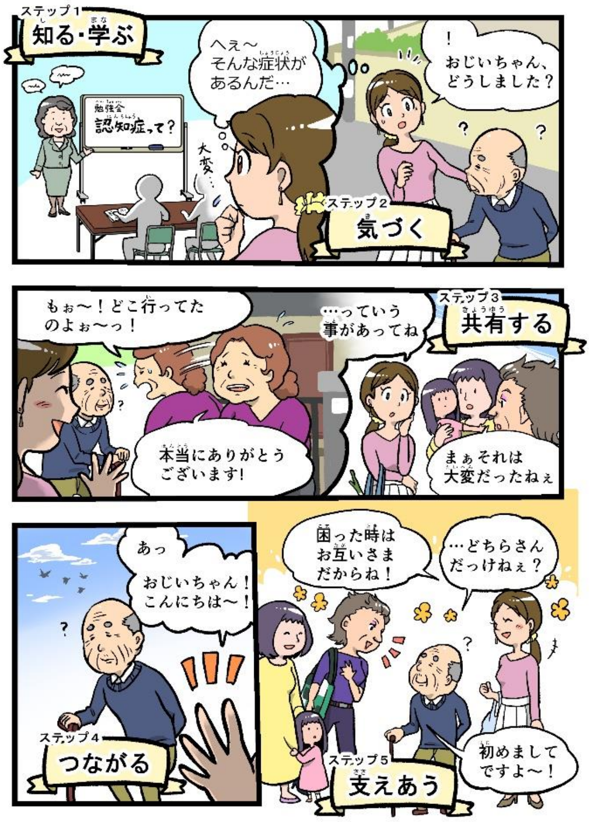
このキーワードを形にするために、段階的に進める「ステップ方式」により、取り組みへのきっかけを分かりやすくしました。

個人や地域の現状を各ステップにあてはめて考えることで、それぞれの立場で取り組める内容を明確にすることができます。



●マンガでみるステップ～日頃からのつながりが大切です！

★あれっ！最近あの人よくみかけるなぁ・・・



★あの人、挨拶してくれないなぁ・・・

★あそこの家の人って・・・

★突然災害が・・・

基本目標Ⅰ　お互いを知り、気づき、理解し合う心が育まれている

◆基本目標の具体像（6年後の目指す姿）◆

福祉や地域のことに関心を持つ人や機会が増えている

◆地域での具体像（わたしたちにできること）〔個人・団体など〕

- ●福祉に関する情報を入手し、地域のことを知る
- ●身近な地域の福祉について知り、学ぶ機会をつくる
- ●地域の人とのあいさつなど、まずは自分でできることを考える
- ●活動内容や地域に関する情報を発信する

◆多摩市社協の施策・取り組み

- ●広報媒体の拡充・情報発信の強化
- ●福祉を身近に感じる機会の提供

◆基本目標の具体像（6年後の目指す姿）◆

身近に困りごとを相談できる人や場が増えている

◆地域での具体像（わたしたちにできること）〔個人・団体など〕

- ●まわりの人のちょっとした変化や困りごとに気づくことができるように、身近なかかわりの中でさまざまなことに関心をもつ
- ●困った時の相談窓口を、まわりの人と共有したり、伝えたりする機会をつくる
- ●災害時や緊急時に自分に何ができるか、まわりに支援が必要そうな人はいるか考える
- ●活動を通じて、困りごとを抱えている人がいたら、社協や専門機関に繋げる

◆多摩市社協の施策・取り組み

- ●様々な（多種多様な）相談を受けられる窓口の強化
- ●潜在・複合的な課題へのアプローチ

基本目標Ⅱ　地域がつながり、人がつながる取り組みが広がっている

◆基本目標の具体像（6年後の目指す姿）◆

福祉や地域活動に参加するきっかけや機会が増えている

◆地域での具体像（わたしたちにできること）〔個人・団体など〕

- ●関心のあるテーマや地域のイベント、活動に参加する
- ●日頃から学校、職場や地域等でまわりのことを話すなど、気づいたことを共有する
- ●多くの人に地域のイベントや活動に参加してもらえるよう工夫する
- ●多くの人が活動に参加しやすいきっかけづくりから始める
- ●地域に出向き、地域の人が参加しやすい場で活動する

◆多摩市社協の施策・取り組み

- ●地域福祉活動への参加のきっかけづくり
- ●地域活動の創出支援

◆基本目標の具体像（6年後の目指す姿）◆

身近な地域で交流の場や地域のことを一緒に考えていく場が広がっている

◆地域での具体像（わたしたちにできること）〔個人・団体など〕

- ●サロン等通いの場など、身近な地域の中の集まりの場に参加する
- ●身近な人と地域のことについて話し合う
- ●活動を通して市民が集い、交流できる場をつくる
- ●同じような活動をしている者同士で交流する

◆多摩市社協の施策・取り組み

- ●多世代の交流の場づくり
- ●同じ課題や関心事を持つ人の居場所づくり

基本目標Ⅲ　地域で見守り・支えあいの輪が広がっている

◆基本目標の具体像（6年後の目指す姿）◆

地域でのつながりを活かし、活動が充実している

◆地域での具体像（わたしたちにできること）〔個人・団体など〕

- ●自分ができる役割を見つけ、できることから無理のない範囲で始める
- ●それぞれの活動をお互いに認め、人と人とのつながりを深める
- ●身近な人に参加を呼びかける
- ●活動が続けられるよう、参加の仕方を工夫する
- ●同じような活動をしている者同士で、互いにサポートしあう

◆多摩市社協の施策・取り組み

- ●ニーズに応じた担い手の発掘・育成
- ●ネットワークを活かした地域活動の推進

◆基本目標の具体像（6年後の目指す姿）◆

生活課題がありながらも地域で安心して暮らせる人が増えている

◆地域での具体像（わたしたちにできること）〔個人・団体など〕

- ●地域での交流や地域づくりを考え、支えあいの仲間を増やす
- ●つながりを大切にお互いさまの気持ちで、地域での見守りや支えあいを続ける
- ●様々な地域活動団体が連携しながら、課題に取り組む

◆多摩市社協の施策・取り組み

- ●見守り・支えあい活動の支援
- ●生活支援に係る事業の強化

多摩市社会福祉協議会の各セクションの連絡先

●二幸産業・NSP健幸福祉プラザ（法人管理課）

〒206-0032　多摩市南野3-15-1　Ｍａｉｌ：info@tamashakyo.jp

★総務係	電話：042-373-5611	ＦＡＸ：042-373-5612
★権利擁護センター	電話：042-373-5677	ＦＡＸ：042-373-5612
★センター係	電話：042-356-0307	ＦＡＸ：042-356-1155

●多摩ボランティア・市民活動支援センター（地域福祉推進課）

〒206-0011　多摩市関戸4-72　ヴィータ・コミューネ７Ｆ

★まちづくり推進担当	電話：042-373-5616	ＦＡＸ：042-373-6629
★ボランティア担当	電話：042-373-6611	ＦＡＸ：042-373-6629

発行・編集：社会福祉法人 多摩市社会福祉協議会
〒206-0032 多摩市南野 3-15-1 二幸産業・NSP健幸福祉プラザ